

# スポーツ栄養学科の紹介

作成者 講師 久保佳子（管理栄養士）

スポーツ栄養学科では、「運動・スポーツ」と「栄養」について幅広く学ぶカリキュラム（教育課程）を用意しています。また、卒業後の進路をイメージしやすくなるように**3つの履修モデル**（学校栄養モデル・健康栄養モデル・スポーツ栄養モデル）を用いて学生を育成しています。

## 学校栄養モデル

## 健康栄養モデル

## スポーツ栄養モデル

<在学生紹介>

<在学生紹介>

栄養教諭

学校

福祉施設

病院

スポーツ施設

保育園

外食・中食

委託

ドラッグストア

料理教室

薬局

アスリート寮

研究機関

保健所

社員食堂

食品メーカー

中学時代の体育の先生にあこがれて  
教員を志す学生

### ※栄養士が活躍する場の例

栄養士が活躍する場は、多くあります。資格や免許を取得後、どのような場（分野）を目指したいかを考えておくことで学ぶ目標がより明確になると思います。

スポーツ栄養学を  
実践する学生

<卒業生紹介>  
栄養教諭として活躍

<卒業生紹介>  
スポーツ栄養分野で活躍

Interview  
2

宮城県立迫支援学校に  
栄養教諭として勤務

三品朋子さん

宮城県・加美農業高等学校 出身

高校の授業で食育の大切さに気づき、また野球部のマネージャーとしてのサポート経験から栄養と運動の関係に興味を持ち、進学。学生の身でも実際の現場に近い形で指導する環境によって実践・考察・改善・計画のPDCA

の姿勢が身につきました。現在はwithコロナ時代のつまみ食育におけるICTの活用・定着を推進し、調理員の紹介や献立ができるまでの動画を自分で制作するなど子どもたちに食の楽しさを伝えています。

大学の学びを経て、多くの卒業生が社会で活躍しています！

今回紹介した在学生や卒業生の詳細は、[大学パンフレット](#)に掲載されています。その他、学科の詳しい紹介もしていますので、是非、ご覧ください。



大学  
パンフレット

森永製菓株式会社  
in トレーニングラボに就職

山上はるかさん

宮城県・利府高等学校 出身

トップアスリートの競技パフォーマンスを高める包括的な栄養サポートを行っています。在学中はスポーツ栄養研究会に所属し、硬式野球部のサポートグループの一員として活動。食事提供など、授業で学んだことを実践

する場が身近にたくさんあったからこそ、今、試行錯誤しながらもアスリートに寄り添い円滑なコミュニケーションを築けるんだと実感しています。アスリートを支える力を育む仙台大学の環境をフル活用してください。

Interview  
1

大学での栄養サポートの実践経験が、今、アスリートを支える原動力に



お弁当を（教育現場で栄養教諭ができること）その可能性を最大限に追求したい



大学での栄養サポートの実践経験が、今、アスリートを支える原動力に